



114
A 501
1



秘

秋派第壹号ノ六

馬尼刺及香港派遣第六回報告

旗丁普才一八二号訓令ニ基キ六月十八日午前五時馬公港
 拔錨全日午後三時ブラガース島ヲ過キ六月十九日午後二時
 香港ニ着知港事ノ指道守ニ依リ軍艦錨地ヲマテ浮
 標ニ繫泊ス在港ノ軍艦ハレシーピングガシップ、テマー、外
 英國砲艦七隻(リンチット、ピーユック、ピグミー、プロヴァ
 ー、スウ井フト、トウ井ード、ワイヴアル)及測量艦(ワオター
 ン、ツケ)壹隻ナリ英國司令官ホルランド氏ノ説ニ據シ
 バ今朝(十九日)巡洋艦「ボナベンチエラ」ヲ「マニラ」ニ派遣シ
 タルカ全艦ハ北部ヨリアフ井ジニヤノ「マニラ」ニ入ルヲ待テ
 威海衛ニ回航セシムベキ豫定ナリト又在港中ノ砲艦
 中一二隻ハ直チニ出港シ得ベキ準備ヲ為シツアリト



測量艦ヲウツチハ是ヨリ威海衛ニ到リ左所
測量ヲ為スベシト云フ

馬尼刺香港間ノ交通ハ近頃軍艦ノ往復増加セル
ノミナラスゴラスノテルゴエシヤシ及バコト等ノ汽船往復
スアリテ交通ノ便ヲ増シタルヲ見ル

ゴウアニス及ジヤツクソニト稱スル香港ノ商會ハ近頃合
衆國司令長官ノ許可ヲ得テヨシラシ灣ヲカビテニ一
支店ヲ開キ合衆國陸海軍ノ為メニ糧食及雜貨
ヲ販キツツアリト云フ

電信ハ依然不通ニ屬スト云々英司令官ノ說ニ據
ル颶風季ノ節ト為ルカ故ニ氣象家報告通信ノ目的
ヲ以テ馬尼刺及香港ノ氣象家臺間ニ電信
ヲ接続セシト歎ク云々

香港ニ通スル電纜ニ關シヤ三回報告ニ記セル處
リニガ誤聞アリキヲ以テ茲ニ正誤ス

談電纜ハ素トイハスタルニエキステニシヨレテレグラフ
コムパニールト稱スル英國電信會社ノ所有ニシテ
ホリナチ岬ニ於テ西國政府ノ陸上電線ト接続
シアリシヲ本年春ノ又徒驟動ニテ損害セラルタル
為メ西國政府ト特約ヲ結ビ前記ノ電信會社
ノキニテホリナチニ上陸セシメス直ニ馬尼刺迄海
底電纜ヲ道寸クニシテ為シタルモノニシテ今同合衆
國艦隊司令長官ノ命令ニテ切断セラレタルニ依リ
事實ヲ確メタル上合衆國ニ要領之ヲ積リテ聞ク
香港碇泊中及其以前ニ於テ起リタル事ノ中主モナ
ル件ハ左ノ如シ

一 九龍背後之而英方里ヲ清國ヨリ英國ニ讓
典ノ決定

二 英國海軍省ハ現今ノ香港造船廠(ヤビロ)ヲ
擴張スルコトヲ認可シタルコト

現在ノ面積四エーカール四分ノ三ナルヲ二拾八エーカー
ルトシテ此必要ナル建設ヲ為スベキ計畫画ニシ

テ右面積ノ内十二エーカール四分ノ一ハ海山年ヲ
埋立テ五エーカール四分ノ三ノ繫船渠ヲ造リテ

砲艦以下水雷艇ノ繫留ニ便ニスミト云フ但シ乾
水船渠ハ此處ニ設ケサル計畫ナリト云フ

三 銃器彈藥(モルセル銃工ニヒルド銃及之ニ對スル數
萬ノ實包)密輸出捕拿

一回ハ獨國汽船於テ一回ハ支那荷船於テ捕

拿セラレタルモノニシテ其詳細ハ各新聞紙等ニ記
載アルヲ以テ茲ニ致見セス

六月廿日英國女皇陛下踐祚ノ例祭日午前八時ヨリ
日没迄滿艦飾ナシ正午皇禮砲ヲ施行ス此日石

炭二百五十噸及權用水百五十噸ヲ積込ム
六月廿日午後一時香港出発全廿四日午前土時馬尾

利港ニ着
コトヲ灣口ニ於テ米國軍艦送船サヒロ号ノ(香港ヨリ)

入港スヲ見コトゴレギト島ノ側ラニ於テ獨艦「イレス」ノ
出港スニ速フ又一軍艦ノヨリ「ベレス」ニ於テ商船ヨリ

石炭ヲ積入レツアルヲ見タリ(蓋シ獨艦ナラン歟)
在港ノ獨艦ハ赤島ノ外英艦「イム」モタリテ「ホナ」ニ

千二ノ獨艦「カイガール」(輕巡長官)「カイガリン」オクスタクコル

天ラ之及佛艦アルイハ六隻ナリ
 澎湖島より香港ニ至ル航海中ハ曇天ニシテ北東ノ風強
 吹ニ波浪亦高シ而シテ香港ニ近クニ隨時々降雨アリ
 香港ニ入ルル如キハ暴雨咫尺ヲ弁セサルコトアリシ
 香港より馬尼刺ニ至ルノ航海ハ晴曇相半ニ南乃至
 南西ノ風續吹ニ其力ニ乃至四ニテ長湯アリ
 香港入港ノ際并ニ馬尼刺入港ノ際皇禮砲及在港海
 軍司令官、司令長官等ト禮砲ト交換等式ノ如ク
 施行セリ
 右報告候也

明治三十一年六月廿四日

於馬尼刺
 秋津洲艦長齋藤實

海軍大臣侯爵西郷從道殿

追テ香港碇泊中全地ノ新聞紙上福州ニ於ケル佛人
 ノ舉動ヲ記スモノアリ左ニ要領ヲ摘録シテ
 供卷看候
 佛人船道ニタル如ク福州ノ清國官衙ハ全地ニ於ケル佛人
 ノ止圍ニ圍ミテ大ニ警戒シツアリ
 總理衙門ハ今後五ヶ年間馬尾造船所ハ号額ノ
 俸給ニテ多數ノ佛人ヲ雇フニテ強迫セラレテ兼
 諾シタレ氏福建省ハ之ニ手拂フヘキ金員ノ出所キ
 ニ苦ナリ
 佛人巡洋艦二隻又其乗員合シテ一十人ヲ福州ニ
 回航セシメ先カ一ニ造船所ノ前ニ碇泊セシメトテ要

ホセリ然し瓦港長は同所ニ往等ヲ碇泊セシメバ水
深ナキヲ指示セリ次ニ佛人ハ總督裕録ニ請ホシテ
兵員五百人ヲ造船所内ニ住居セシメタト其理
由ハ遠ク歐洲ヨリ廻航セシメタメ乗員度勞甚
ニキヲ以テ休養ヲ要スト云フアリ裕録ハ造船
所内狹隘ニシテ彼等ヲ容ル能ハサル者ヲ若
ハカカニ探索セシメ佛艦内ニ病者等ナキヲ知リ
又左ノ如ク追答セリト他ニ本造兵舎ノアルアリ
若シ御好ニナラバ造船所構外ノ明地ニ移轉ス
御使用ノ儀ハ差支ヘナシ云々此ニ於テ佛人トノ
交渉一段落ヲ告ケテ而シテ總督裕録也轉ニ新任ノ
總督造艦所南スル一切ヲ知セト謝絶シ佛人尙ヨリ俸
給ヲ釋ルルキヲ知テ彼等依リ新總督ヨリ總理衙門へ

交渉セリ云々

其後ノ新聞福州記事トシテ左ノ一項アリ切抜ノ儘茲附
ス

福州記事 (譯文)

前日馬尾造船廠ノ事ニ就キ近來種々笑フキ風説
ヲ為スモノアリ「香港電報」ノ傳アルトコト依リハ支那官吏
ハ造船廠内ノ佛國技師ニ俸給ヲ支拂ハサリシヲ以テ佛艦
シヤンバール及デカルトノ二隻ヲ援護スルヲ諒地ニ來リ工
場ヲ砲撃セント脅シカ幸ニシテ英艦ダフ子同港ニ在
リテ佛艦ト陸地ノ間ニ碇泊セシカハ佛艦ハ此威勢ヲ恐レ
ケシ直ニ退却シテ遂ニ其計畫ヲ果サリキト斯ノ如キ
奇談ハ新聞紙ノ記事ヨリモ寧口滑稽小説ニ適スルモ
ノト云フ一ニ而シテ目下バゲニ碇泊セル英佛二國ノ海軍

軍人ハ傳テ好笑柄ト為セリ

支那政府ハ日モ佛國技師ニ俸給ヲ支拂フヲ猶豫シタルヲ
ナキノミナラズドエール氏が歐羅巴ニ購ヒタル諸兵器類モ約

ノ如ク悉ク支拂ヒタリ

支那官吏ト造兵廠技師トハ親密ニシテ其間ニ聊モ語

意ノナキハ前全曜日ニドエール氏が裕氏ノ為メ告別ノ

宴ヲ催シタルトキ主客孰モ歡ヲ及ビシテ退散シタルニ依

リテ知ルヘシ思フニ新知事モ亦裕氏ノ方針ヲ執リ約

束ヲ破リテ自國ノ体面ヲ汚ス等ノヤハ萬ナカルヘシ